

## 9 月 19 日：株価は大規模な売りにより急降下

大型株の急落によりパニック売りが殺到、月曜日のベトナム株は急落となった。

ホーチミン市場では VN 指数が-2.32%の 1,205.43 ポイント、先週は 1.18%下落しており 3 週連続の下落となった。VN 指数は 399 銘柄の下落、64 銘柄の上昇と弱気な相場が続いた。一方で流動性は高く、16 兆 7,000 億ドン（7 億 550 万ドル）を超える金額がホーチミン市場に流入した。出来高は約 7 億 200 万株であった。

主要 30 銘柄で構成される VN30 指数は-1.83%の 1,229.88 ポイントで終えた。採用銘柄の中で 2 銘柄のみが上昇。FPT グループ(FPT) +0.7%とビンググループ(VIC) +0.6%であった。一方で、下落銘柄はバオベトホールディングス (BVH)-5.2%、TP バンク(TPB) -4.9%、サコムバンク(STB)-3.8%、ミリタリーバンク(MBB)-3.7%、ホアファットグループ(HPG)-1.5%、BIDV (BID)-3.7%、ファットダット不動産開発 (PDR) -4.7%、ペトロベトナムパワー(POW)-5.3%、ビンコムリテール(VRE)-2.5%であった。

銀行セクターは下落、市場全体を押し下げた。主な銘柄は BIDV (BID)、ベトコムバンク(VCB)、サコムバンク (STB)、サイゴンハノイ銀行 (SHB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、ミリタリーバンク (MBB)、VP バンク (VPB)、テクコムバンク (TCB)、TP バンク (TPB)、リエンベトポストバンク(LPB)であった。

エネルギー銘柄も下落。主な銘柄はペトロリメックス(PLX)、ペトロベトナムパワー (POW)、PV テクニカルサービス(PVS)、PV ドリリング(PVD)、PV ケミカル(PVC) ペトロベトナムガス(GAS)であった。

ロンベト証券によると、「1,230 ポイントで買い支えが数回入っていたが、資金流入が増加せず、VN 指数は 1,230 ポイントを保てなくなり徐々に下落していった。

終盤、VN 指数が 1,190-1,200 の買い支えエリアに後退したとき下落幅は一時的に抑えられた。

現在、需要と供給のバランスを再確認するために 1,220-1,230 ポイントの抵抗エリアでは買いが入りテクニカル的な観点で、市場は立ち直ると思われる。しかし、市場全体のトレンドは依然弱く、信用性のある買い支えのサインはない。それゆえに、投資家は未だ注意を払い、買い支えの資金の流れを観察する必要がある。

当面は、回復期間を利用して最小限のリスクになるようポートフォリオを再構築し続けることを勧める。」との見解を述べた。

一方、ハノイ市場の HNX 指数は-3.16%の 264.25 ポイントで取引を終えた。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。